

読売新聞印刷工場とサントリービール工場の見学(7&10班)

7月10日(火)、JR武蔵野線新秋津駅に9時35分に集合し、6名が集まった。府中本町駅で南武線に乗り換え、分倍河原駅で京王線に乗り換えた。中河原駅へ行く途中、電車内で話に夢中になり、1つ先の駅まで行ってしまった。11時からの説明開始時刻に何とか間に合い、資料説明やビデオ上映を見て、印刷工程を学んだ。夕刊の印刷が始まる12時前に輪転機のある部屋に移動した。アルミ版にデータを記録した版材が流れてきて、係の人がそれを輪転機のドラムにセットし、印刷が始まった。白い紙だったものが、少しずつ色や文字が入り、目にもとまらぬ速度で夕刊が完成していく。販売店ごとに束ねられ、遠い所からトラックに乗せる。インクや紙の供給は自動で行われ、人間の役割は版材を取り付け、ラインの起動、印刷状態の確認、トラックへ積み込みなどくらいで、少人数で行っていた。

13時に終了し、府中市郷土の森公園内にあるレストランでランチを取り、サントリービール工場へ向かった。開始時刻5分前に受付を終え、すぐにガイドツアーが始まった。ザ・プレミアム・モルツのこだわりは麦芽(二条大麦麦芽とダイヤモンド麦芽)、ホップ(欧州産アロマホップとファインアロマホップ)、天然水100%を使用。試飲はまずザ・プレミアム・モルツで、見学を終えてからの一杯はとてもおいしかった。

ビール工場は昨年来ているので、大きな感動はなかったが、印刷工場は少人数で自動化された作業やきれいな工場に驚きました。

読売新聞印刷工場



印刷工場輪転機



紙送り機



自動紙運搬機

サントリービール工場



アロマリッチホッピング製法



試飲会場